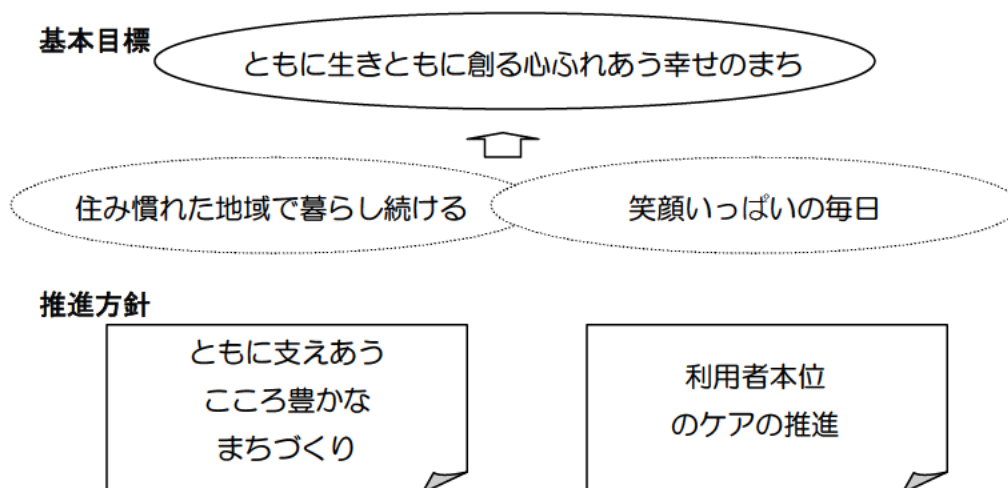


名張市における認知症地域支援体制構築等推進事業

1. 事業が目指す方向性



2. 施策の展開

(1) ともに支えあうところ豊かなまちづくり

地区保健福祉センターまちの保健室を拠点とし、まちづくり協議会等と協働して認知症等の要援護高齢者を支える地域づくりに取り組みます。

- ①コーディネーターの配置（2名配置済み）
- ②認知症に関する啓発（一般向け啓発のほか、児童向け教材を開発予定）
- ③ネットワークづくり
 - ア. 資源マップづくり（2地区で作成予定）
 - イ. 認知症サポーター養成講座（養成予定人数 200名、現在 140名）
- ④安心お出かけネットワークの構築

(2) 利用者本位のケアの推進

高齢者がその人らしく暮らし続けられるケアを推進します。

- ①サービス事業者の質の向上（センター方式への理解）
- ②支えあいのケアサービスの推進

3. 推進体制

- 庁内体制：地域包括支援センター、保健センター
まちの保健室（コーディネーター2名） ※保健師を中心にチームを編成
- スーパーバイザー：三重県立看護大学

4. スケジュール 別紙

5. これまでの実施状況

(1) ともに支えあうこころ豊かなまちづくり

認知症サポーター養成講座(平成20年3月6日(木))

三重県立看護大学 地域交流センター 伊藤薫 氏

受講者: 民生委員 32名、健康づくり隊 10名、保健委員 49名

一般参加者 29名 計 120名

養成予定人数 200名、現在 140名

健康まちづくり講演会「みんなが主役!ヘルスプロモーション」

三重県立看護大学 教授兼地域交流研究センター長 佐甲 隆 氏

受講者: 健康づくり隊、介護保険事業所、まちの保健室等 60名

資源マップ作成準備

地域づくり委員会単位(14地区)のうち2地区(住宅団地、農山村部)を選定し、作成に向けて当該地域と調整中である。

(2) 利用者本位のケアの推進

事業所向け研修会の開催

「住み慣れた地域で暮らし続けるために」(平成20年3月11日(金))

大阪市立大学大学院教授 白澤 正和 氏(社会学博士)

参加者数: 103名(介護支援専門員等介護保険サービス事業従事者)

センター方式 研修

「認知症の人の支援をみんなでいっしょに

～ センター方式を使ってもっと楽に楽しく ～」(平成20年7月22日(火))

認知症介護研究・研修東京センター 主任研究主幹 永田 久美子 氏

参加者数: 名(介護保険サービス事業従事者、民生委員等)

全3回予定: 8月26日(火)「センター方式の活用の実際」

11月頃予定 「センター方式を活用した事例検討」